

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2019年6月30日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



参議院選挙で暮らしを変えよう!



「戦闘機に1兆円も使う政権ではアカン」
「2000万貯めるより選挙で自民党落とすほうが簡単や」「アメリカいいなりひどすぎる」怒りの声渦巻く!!

6月22日地下鉄醍醐駅前で、倉林参議院議員が訴えました。「看護師出身の私は、命を守るはずの社会保障制度が命を奪う現状は許せない。高すぎる国民健康保険料が問題です。2期目、国会に送っていただいたら、国保特有の制度になっている均等割り、平等割を廃止して、全力で国民健康保険料を約半分まで引き下げるために頑張ります。減らない年金制度と暮らせる年金を実現しましょう。日本共産党は財源を示して提案をしています」と訴えると、緑道からも通りかかった方が立ち止まって聞く方や多くの参加者から拍手が起こりました。

西野議員は馬場府議といっしょに、9か所で宣伝をしながら、醍醐駅前に駆けつけました。

▲ 大勢の聴衆を前に訴える倉林明子参院議員。西野市議、馬場府議も醍醐の各地で宣伝しました。



「減らない年金」の提案に大きな期待が!!

子育て支援を提案 保育所前で宣伝しました

「安心して子育てができる社会をつくりたい。」と、西野さち子市議は日本共産党女性後援会の皆さんとともに保育所前で、お迎えに来られた保護者の皆さんに、署名を訴えました。

「幼児教育の無償化もいいけど、保育士さんの処遇改善が先でしょ」「返済不要の奨学金制度をもっともっと拡充してほしい」「小中学校の給食費の無償化と全員制の温かい中学校給食を子どもたちに」「子どもの医療費を中学校卒業まで無性に」などの声を署名にして国に届けようと訴えました。お迎えのお母さん、お父さんとも対話が弾み、保育園児の元気な声に囲まれてこちらも元気をもらいました。



議員日誌 小栗栖大谷池の浚渫工事

昨年7月の豪雨で大岩山で発生した土砂崩れの土砂で埋まった大谷池の浚渫工事が終わりました。予定より早く工事が終わり、進入路や工事の後始末などを行っている現状です。

西野さち子市議は現場を確認するために調査をしました。「元の池より浅いのではないか。」「大岩山の対策が全く進んでいない状態で、池の上流部にあった1個1トンの土嚢すべてを撤去してしまっているのか。」などの疑問が出てきました。京都市は「池の浚渫は、深さは浅いが予定の900㎡は撤去した。土嚢は、新たに撤去するにはまた予算が必要になるため、池の浚渫と同時に撤去した」と答弁。市民の安全より費用の軽減が優先されたことに怒りがわきました。大岩山の早急な恒久対策が重要です。



文化環境委員会

6月18日の文化環境委員会で西野さち子市議は、マイクロプラスチックの環境汚染について質問しました。国のプラスチック循環計画は「このままでは2050年には海のプラスチックの量が魚の量よりおおくなる」と言いながら、具体策がありません。マイクロプラスチックは化粧品などにも入っていますから、国待ちにせず市が独自に拡大生産者責任を進める必要を質しました。

